

# 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 株式会社 リミックスポイント  
 コード番号 3825 URL <http://www.remixpoint.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 登  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 三田 徹  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東

TEL 03-5216-1811

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	811	—	△140	—	△149	—	△184	—
20年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△22,408.51	—
20年3月期第2四半期	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	1,633	—	175	—	10.6	—	20,929.58	
20年3月期	2,358	—	363	—	15.1	—	43,339.27	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 172百万円 20年3月期 357百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
21年3月期	0.00	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	0.00	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,560	—	△233	—	△246	—	△282	—	△33,691.76

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 8,370株 20年3月期 8,370株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 120株 20年3月期 120株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 8,250株 20年3月期第2四半期 一株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発したグローバル金融市場の混乱や信用不安、株価の低迷、急激な円高の進行、原材料価格の高騰等、企業コストの上昇や景気の悪化懸念による消費の低迷により景気の減速感がさらに強まってまいりました。

情報サービス産業界におきましても、株価下落や景気低迷による先行き不安感から、厳しさを増しております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間において当社グループは、既存顧客との関係深堀に加え、新規顧客に対するソリューション営業力の強化および自社プロダクトの品質向上やOEM提供など販売体系の多様化に努めてまいりました。

売上面におきましては、グループ企業各社の主要取引先との継続安定的な売上が順調に伸びたことが貢献し、当初の計画を上回り、連結売上高811百万円となりました。

しかしながら、グループ全体の経営資源の集約に向けた組織体系の整備の遅れや効率的な開発体制の構築が遅れたことにより、利益面においては当初の計画より下回り、営業損失140百万円、経常損失149百万円、四半期純損失184百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ270百万円減少し、173百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は92百万円となりました。これは主に第2四半期連結累計期間における税引等調整前四半期純損失151百万円、売上債権の減少219百万円、仕入債務の減少73百万円、利息の支払10百万円、法人税等の還付金による収入47百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7百万円となりました。これは主に無形固定資産の取得10百万円、敷金の回収による収入6百万円、少数株主からの子会社株式の追加取得による支出3百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は170百万円となりました。これは主に借入金の返済による支出95百万円、社債の償還による支出74百万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期の連結業績結果は、平成20年5月15日に開示いたしました当第2四半期業績予想に対し、売上は伸びたものの、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに下回る結果となりました。

なお、第3四半期以降についても、当社グループの事業の再構築を図るべく、不採算事業の撤退の見極めおよび得意分野への経営資源の集中投入を図るとともに、開発における外注管理・工程管理の再構築など、効率的な開発体制の構築に努めます。

通期業績の詳細については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(たな卸資産の評価方法)

当第2四半期連結会計期間末のたな卸資産の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実施棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法を主としております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	173,420	443,857
売掛金	104,073	323,729
商品	12,710	15,777
製品	27,668	15,083
仕掛品	19,261	25,378
前払費用	58,899	75,707
繰延税金資産	—	33,273
その他	25,327	135,364
貸倒引当金	—	△74,500
流動資産合計	421,360	993,673
固定資産		
有形固定資産	17,164	21,100
無形固定資産		
のれん	739,158	827,272
ソフトウェア	204,758	244,024
その他	2,481	2,772
無形固定資産合計	946,398	1,074,069
投資その他の資産		
長期前払費用	85,471	97,742
固定化営業債権	74,500	—
その他	163,347	171,693
貸倒引当金	△74,500	—
投資その他の資産合計	248,819	269,435
固定資産合計	1,212,382	1,364,606
資産合計	1,633,743	2,358,279

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	25,996	99,182
短期借入金	302,043	403,627
1年内償還予定の社債	129,600	139,600
1年内返済予定の長期借入金	34,977	28,956
前受金	262,952	430,505
未払法人税等	1,802	—
その他	133,170	162,161
流動負債合計	890,542	1,264,032
固定負債		
社債	405,600	470,400
長期借入金	64,561	64,896
長期前受金	97,500	195,000
繰延税金負債	288	329
固定負債合計	567,950	730,625
負債合計	1,458,492	1,994,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,575	429,575
資本剰余金	349,575	349,575
利益剰余金	△588,901	△404,081
自己株式	△18,000	△18,000
株主資本合計	172,248	357,068
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	421	480
評価・換算差額等合計	421	480
少数株主持分	2,581	6,071
純資産合計	175,250	363,620
負債純資産合計	1,633,743	2,358,279

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	811,942
売上原価	422,433
売上総利益	389,509
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	126,267
その他の販売費及び一般管理費	404,205
販売費及び一般管理費合計	530,473
営業損失(△)	△140,964
営業外収益	
受取利息	377
還付消費税等	810
法人税等還付加算金	1,440
その他	12
営業外収益合計	2,640
営業外費用	
支払利息	10,211
その他	663
営業外費用合計	10,875
経常損失(△)	△149,199
特別利益	
過年度損益修正益	51
特別利益合計	51
特別損失	
リース解約損	519
事務所移転費用	1,341
特別損失合計	1,860
税金等調整前四半期純損失(△)	△151,008
法人税、住民税及び事業税	1,042
法人税等調整額	33,273
法人税等合計	34,316
少数株主損失(△)	△454
四半期純損失(△)	△184,870

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△151,008
減価償却費	55,799
のれん償却額	88,078
受取利息及び受取配当金	△377
支払利息	10,211
売上債権の増減額(△は増加)	219,656
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,458
仕入債務の増減額(△は減少)	△73,186
その他	△276,104
<b>小計</b>	<b>△130,387</b>
利息及び配当金の受取額	377
利息の支払額	△10,188
法人税等の還付額	48,741
法人税等の支払額	△1,161
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△92,618</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
無形固定資産の取得による支出	△10,618
敷金の回収による収入	6,426
子会社株式の取得による支出	△3,000
その他	72
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△7,121</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	△81,419
長期借入金の返済による支出	△14,478
社債の償還による支出	△74,800
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△170,697</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△270,437
現金及び現金同等物の期首残高	443,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	173,420

## 注記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当社グループは、前連結会計年度において営業損失425,225千円、当期純損失552,266千円を計上し、当第2四半期連結累計期間においても営業損失140,964千円、四半期純損失184,870千円を計上いたしました。前連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは543,872千円のマイナスであり、当第2四半期連結会計期間においても92,618千円のマイナスとなっております。

また、当第2四半期連結会計期間末において1年内返済予定の金融機関借入金及び1年内返済予定社債の合計が466,621千円(この内、平成20年12月25日に返済期限が到来する借入金が300,000千円)あります。

当該状況により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じております。

当該状況を解消すべく、財務面におきましては、金融機関への返済金の確保および財務状態を安定のため、第三者割当増資等を含めた資本政策を実施すべく、現在特定の事業会社と交渉しております。また、取引金融機関からは、平成20年12月25日に返済期限が到来する借入金の返済期限の延長について同意に基づく手続きを進めております。

事業面におきましては、グループ全体の再編をおこない「各社の経営資源を集約できる組織体系の整備」「効率的な開発体制の構築」「販売およびサービス体制の強化」を基本方針とし、更なる営業面、開発面での効率化を行い、必要最小限のコストでの事業運営のため、今まで以上にコスト管理を厳格化いたします。

当社グループの事業継続は、交渉中の事業会社並びに金融機関の協力および事業運営上の施策に依存しておりますが、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

## (5) セグメント情報

## a. 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額に占めるソフトウェア開発関連事業(デジタル画像や映像に関するアプリケーション・ソフトウェアの開発及び周辺サービス事業)の割合が90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## b. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

## c. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。